

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

株式会社 地域計画連合

②事業者情報

名称：	川口市立川口駅前保育園	種別：	保育所
代表者氏名：	西川 けい子	定員(利用人数)：	120 (135) 名
所在地：	〒 332-0015 埼玉県川口市川口1-1-1 キュポラ8F	TEL	048-222-6011

③評価実施期間

平成27年 8月 1日(契約日)～平成28年 3月31日(評価結果確定日)

④総評

◇特に評価の高い点

○総合的な人事管理の基礎の上で職員一人ひとりの育成に向けた取り組みが継続的に実施され、職員自身も高く評価している

職員一人ひとりが作成した「個人別年間研修計画」には園長が個別に職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況、経験や習熟度に配慮した「アドバイス」が記載されている。計画は上期、下期と年2回作成され、園長は職員の成長・育成状況を把握し、どのような成果があったかを明示するとともに、次期に向けての課題をアドバイスしている。法人の用意する階層別研修、自由選択研修の内容は充実しており、希望した研修に参加できるように職員の勤務体制の調整を図っている。非常勤職員にも同様の機会が与えられている。法人としての総合的な人事管理の基礎の上で職員一人ひとりの育成に向けた取り組みが継続的に実施され、職員自身も高く評価している。

○食育活動への展開を工夫したり、安全なアレルギー除去食の提供を行っている

当園は8階に園庭があり、園庭の一角に「にこにこ畑」と称し、畑での栽培活動を展開している。化学肥料を使うことをやめ、5歳児を中心に給食の野菜くずと糠とで発酵肥料を作り、土作りから栽培活動を展開した。夏野菜はキュウリ、ナス、ピーマンなどを栽培、冬野菜は桜島大根、小松菜、チンゲン菜等を栽培をした。他に発泡スチロールの空き箱を使って、稲作りにも挑戦した。子どもたちは発酵肥料ができあがる過程でにおいを感じたり、この肥料を使ったことで植えた覚えのないカボチャや芋のつるが伸びてきて驚いたり、自然の不思議を感じて新たな発見と経験をしている。畑にはダンゴムシもあり、子どもたちの虫探しの場所にもなっている。また、栄養士が自園の食育年間計画表と各年齢毎の実施計画表を作成しており、手作りバターラスク、ふりかけ作り、肉まん等のクッキングを実施している。保護者対象には給食の試食会を実施して保育園給食の理解につなげている。アレルギー除去食の提供にあたっては全除去のみならず、つなぎ等に使う少量は使用できるなど、個々の状況に応じて提供している。保護者との面談実施後に、毎月子どもに合わせて献立表を作成して、日々の提供時には事前に昼礼等で栄養士と担任が確認を行っている。食事を提供する際には色別のトレーに載せ、ラップに記名をするなど安全に細心の注意を払って提供している。食育活動の展開については職員も自園の特徴的な取り組みとして認識しており、保護者の評価も高いことは利用者調査結果からも読み取れる。

◇特にコメントを要する点

○ボランティアの積極的な活用を望んでおり、具体的な推進計画を立て、関係者の協力を得て成果を上げることが期待される

法人はボランティアの積極的な受け入れを表明しており、園としても地域交流の有用な活動として前向きに考えている。しかし、卒園者の祖母による読み聞かせ、関係者による菜園の世話、夏まつりボランティアなどを受け入れたこともあったが、今年度は昨年と同様に職場体験や保育体験などに留まった。園長は後方支援に止まらず、読み聞かせ、遊び、物作り、音楽他、子どもたちに色々な世界を見せてくれたり、体験させてくれるイメージを持っている。職員を巻き込み、保護者とのコンセンサスを図り、募集方法を明確にした年度計画を練り、着実な成果を上げられることを期待したい。

○決定事項や伝達事項について、職員相互の理解の差と認識の相違を埋めていく工夫が望まれる  
日々の決定事項について、記録を回覧し見た書類については各自がチェックを入れている。また、会議に参加しない職員についても漏れがないように供覧している。重要決定事項や子どもに関する緊急事項等はマニュアルやチェック表に基づき、確実に伝達がなされるようになっている。しかし、日々の軽微な変更に関することや従来やり方からの変更に関する事などについて、職員の経験や各々がどう認識したか等によって理解に齟齬が生じることがあった。このことは経営層も課題として認識しているところでもあり、記録や情報伝達のしくみについて職員間で検討して漏れがなく共通認識が図れるよう工夫されたい。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

今回受審した中で、ボランティアの受け入れについて、ヒントを得ることができました。さっそく新年度、在園の保護者や地域への声かけをすすめたところ、新規の交流が始められることになりました。  
保護者の皆様から頂くご意見や第三者の方々のアドバイスは、私たちの保育の気づきにつながったり、次のステップへの力となったりしています。  
今後も保護者の皆様との連携を深めて、お子さまにとってより良い環境の“輪”をつなげていきたいと思えます。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり